

Ⅷ 各種調査結果

(1) 市民アンケート調査

ア 調査について

(7) 目的

鎌倉市の暮らしやすさや、市民の皆様の幸福度・満足度を把握するため、LWCIに基づくアンケート調査を実施しました。

(イ) 調査対象

令和5年（2023年）7月13日時点で住民基本台帳に記載された満18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）

(ウ) 調査期間

令和5年（2023年）8月4日から8月28日まで

(エ) 調査方法

調査票を郵送配布し、調査票返送、WEB回答の併用により回収

(オ) 調査内容

以下の項目をアンケート調査により把握しました。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">I. 回答者属性（性別、年齢、職業、居住年数、居住地域）II. 幸福度・満足度について（自身の幸福感、地域への満足度 等）III. 地域の生活環境について（医療福祉、子育て・教育、買い物、住宅環境、行政、行政サービス、まちなみ、公共空間、環境、防災 等）IV. 地域の間人関係について（地域とのつながり、多様性、寛容性 等）V. 自身の状態や考えについて（自己効力感、健康状態、文化・芸術、教育機会の豊かさ、雇用・所得、事業創造 等） |
|---|

イ LWCI について

一般社団法人スマートシティ・インスティテュートにより設定された Liveable Well-Being City 指標³⁸の略称であり、客観指標と主観指標で構成されています。

図表 VIII-(1)-イ-① LWCI の客観指標(1)

市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ			
<small>指数を構成するKPIは次ページを参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</small>			
生活環境 (16)			
医療・福祉 <ul style="list-style-type: none"> 医療施設徒歩圏人口カバー率 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-) 人口あたり国保医療費 (-) 人口あたり後期高齢者医療費 (-) 特定健康診断受診率 福祉施設徒歩圏人口カバー率 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-) 人口あたり児童福祉施設数 人口あたり障害者施設数 人口あたり認知症サポートチーム・サポーター数 	遊び・娯楽 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり娯楽業 (映画館、劇場、スポーツ施設等)の事業所数 子育て <ul style="list-style-type: none"> 保育所まで1km未満の住宅割合 可住地面積あたり幼稚園数 施設あたり幼稚園児数 (-) 人口あたり待機児童数 (-) 産出総額における教育費の構成比 合計特殊出生率 	公共空間 <ul style="list-style-type: none"> 公園緑地徒歩圏人口カバー率 人口あたり公園の面積 歩道設置率 ウォーカブル指数 都市景観 <ul style="list-style-type: none"> 都市景観指数 自然景観 <ul style="list-style-type: none"> 自然景観指数 	自然の恵み <ul style="list-style-type: none"> 表層崩壊からの安全率 緑地へのアクセス度 水域へのアクセス度 オートキャンプ場への立地
買物・飲食 <ul style="list-style-type: none"> 商業施設徒歩圏人口カバー率 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-) 可住地面積あたりの飲食店数 人口あたり飲食店数 	初等・中等教育 <ul style="list-style-type: none"> 可住地面積あたり小学校数 可住地面積あたり中学校数 可住地面積あたり高等学校数 施設あたり小学生数 (-) 施設あたり中学生数 (-) 施設あたり高校生数 (-) 	事故・犯罪 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり交通事故件数* (-) 人口あたり刑法犯認知件数* (-) 空家率 (-) 	環境共生 <ul style="list-style-type: none"> NOx平均値 (-) PM2.5年平均値 (-) ゴミのサイクル率 人口あたり年間CO2排出量 (-) 人口あたり再生エネルギー発電量 環境政策指数
住宅環境 <ul style="list-style-type: none"> 住宅あたり延べ面積 平均価格 (住宅地) (-) 専用住宅1m2あたりの家賃 (-) 一戸建の持ち家の割合 	地域行政 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり体育施設利用者数 人口あたり図書館借出者数 人口あたり博物館入館者数 地域財政指数 	自然の恵み <ul style="list-style-type: none"> 食料生産ポテンシャル 水供給ポテンシャル 木材供給ポテンシャル 炭素吸収量 地下水源養量 土壌流出防止量 窒素除去量 リン除去量 NO2吸収量 SO2吸収量 洪水調整量 	自然災害 <ul style="list-style-type: none"> 外水氾濫危険度 高潮危険度 土砂災害危険度 地震動危険度 津波危険度 ハート対策 避難・救助 要配慮者支援 防災教育 防災まちづくり 情報・デジタル防災
移動・交通 <ul style="list-style-type: none"> 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率 駅およびバス停留所徒歩圏人口密度 (-) 人口あたり小型車走行キロ (-) 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合 職場までの平均通勤時間 (-) 	デジタル生活 <ul style="list-style-type: none"> 自治体DX指数 デジタル政策指数 デジタル生活指数 	<small>指数を構成するKPIはP14~15を参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</small>	

資料) デジタル庁/一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well Being) 指標活用ガイドブック」(以下図表VIII-(1)-イ-②、③も同様)

図表 VIII-(1)-イ-② LWCI の客観指標(2)

市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ	
<small>指数を構成するKPIは次ページを参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</small>	
地域の人間関係 (2) <ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながり <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり自殺者数 (-) 拡大家族世帯割合 既婚者の割合 高齢単身世帯の割合 (-) 居住期間が20年以上以上の人口の割合 祭り開催数 自治会・町内会加入率* 人口あたり政治団体等の数 人口あたり宗教の事業所数 人口あたりNPOの数 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数 関係人口創出活動指数 多様性と寛容性 <ul style="list-style-type: none"> 議会における女性議員の割合 自治体の管理職職員における女性の割合 自治体職員における障害者の割合 人口あたり外国人人口 多様性政策指数 	自分らしい生き方 (6) <ul style="list-style-type: none"> 自己効力感 <ul style="list-style-type: none"> 首長選挙投票率 市区町村議会選挙の投票率 健康状態 <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命 (平均自立期間) (男性) 健康寿命 (平均自立期間) (女性) 文化・芸術 <ul style="list-style-type: none"> 芸術家・著述家等の割合 国宝・重要文化財 (建造物) の数 日本遺産の数 教育機会の豊かさ <ul style="list-style-type: none"> 大卒・院卒者の割合 可住地面積あたり大学・短期大学の数 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数 人口あたり生涯学習講座数 人口あたり生涯学習講座受講者数 人口あたり青少年教育施設利用者数 人口あたり女性教育施設利用者数 雇用・所得 <ul style="list-style-type: none"> 完全失業率 (-) 若年層完全失業率 (-) 正規雇用者比率 高齢者有業率 高卒者進路未定者率 (-) 市区町村内で従業している者の割合 創業比率 納税者あたり課税対象所得 事業創造 <ul style="list-style-type: none"> クリエイティブ産業事業所の構成比 新規設立法人の割合 従業員数あたりコワーキングスペースの数 大学発ベンチャー企業数

³⁸ 一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発した地域幸福度(Well-Being) 指標であり、「客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-Being)」を指標で数値化可視化したもの」。

図表 VIII-(1)-イ-③ LWCI の主観指標

主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちを持っていると思う

医療・福祉（2）	生活環境（16）	都市景観（1）	地域の間人間関係（2）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機関が充実している ■ 介護・福祉施設の利用が受けやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て支援・補助が手厚い ■ 子どもたちがいきいきと暮らせる 初等・中等教育（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育環境（小中学校）が整っている ■ 通学しやすい場所に学校がある 地域行政（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている ■ 公共施設は使い勝手良く便利である デジタル生活（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 行政サービスのデジタル化が進んでいる ■ 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい 公共空間（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい ■ まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある 	<ul style="list-style-type: none"> 都市景観（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 自慢できる都市景観がある 事故・犯罪（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安が良い ■ 歩道や信号が整備されていて安心である 自然景観（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 自慢できる自然景観がある 自然の恵み（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 身近に自然を感じる事ができる ■ 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる 環境共生（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである 自然災害（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながり（5） <ul style="list-style-type: none"> ■ 私は同じ町内に住む人々を信頼している ■ 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである ■ 困ったときに相談できる人が身近にいる ■ 町内の人が困ったら手助けするのまことに愛着を持っている 多様性と寛容性（5） <ul style="list-style-type: none"> ■ 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある ■ 私は見知らぬ他者であっても信頼する ■ 私は、町内（集落）の人が自分を誇っているのが気になる ■ 女性が活躍しやすい ■ 若者が活躍しやすい
<ul style="list-style-type: none"> 買物・飲食（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 日常の買い物に全く不便がない ■ 飲食を楽しめる場所が充実している 住宅環境（3） <ul style="list-style-type: none"> ■ 自宅には、心地よい居場所がある ■ 【注】自宅の近辺では、騒音に悩まされている ■ 適度な費用で住居を確保できる 移動・交通（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる 遊び・娯楽（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある 	<ul style="list-style-type: none"> 自己効力感（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分のことを好ましく感じる 健康状態（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 身体的に健康な状態である ■ 精神的に健康な状態である 文化・芸術（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい ■ 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい 教育機会の豊かさ（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 学びたいことを学べる機会がある 雇用・所得（2） <ul style="list-style-type: none"> ■ やりたい仕事を見つけやすい ■ 適切な収入を得るための機会がある 事業創造（1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 新たなことに挑戦・成長するための機会がある 		

25

ウ 調査結果（概要）

(7) 回答者属性

回答者数は1,015名（回収率：50.75%）で、回答者の構成は、性別では女性（54.3%）、年齢では75歳以上（22.0%）、職業では会社員（28.3%）、居住年数では10年以上（76.7%）、居住地域では鎌倉地域（25.9%）が、それぞれ最も多い回答者となりました。

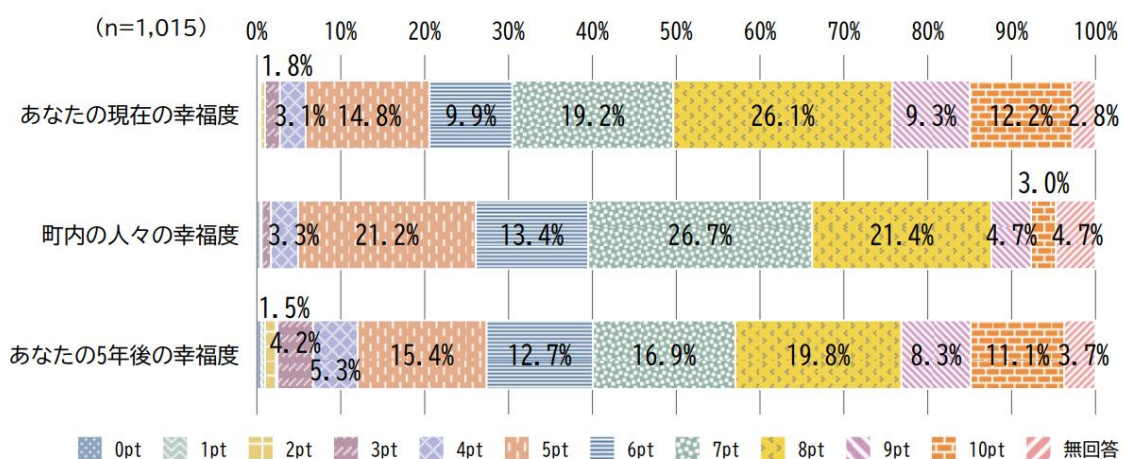
図表 VIII-(1)-ウ-(7)-① 回答者属性の割合一覧

①性別		②年齢		③職業		④居住年数		⑤居住地域	
性別	割合	年齢	割合	職業	割合	年数	割合	地域	割合
男性	44.1%	10代	1.2%	会社員	28.3%	2年未満	4.2%	鎌倉地域	25.9%
女性	54.3%	20代	5.2%	主婦・主夫	19.6%	2～5年	10.2%	腰越地域	14.2%
無回答	1.6%	30代	9.4%	パート・アルバイト	11.6%	6～9年	8.4%	深沢地域	20.6%
		40代	15.9%	自営業	10.6%	10年以上	76.7%	大船地域	23.7%
		50代	20.8%	公務員	3.7%	無回答	0.5%	玉縄地域	15.3%
		60～64歳	9.1%	学生	2.8%			無回答	0.3%
		65～69歳	8.2%	無職	19.4%				
		70～74歳	8.3%	その他	3.6%				
		75歳以上	22.0%	無回答	0.3%				
		無回答	0.1%						

(イ) 幸福度・満足度について

「あなたの現在の幸福度」「町内の人々の幸福度」「あなたの5年後の幸福度」について、0pt（幸福でない）～10pt（幸福である）で評価を尋ねたところ、「あなたの現在の幸福度」は8pt（26.1%）、「町内の人々の幸福度」は7pt（26.7%）、「あなたの5年後の幸福度」は8pt（19.8%）が、それぞれ最も高い結果となりました。また、6pt以上の合計が最も多いのは「あなたの現在の幸福度」でした。

図表 VIII-(1)-ウ-(イ)-① 現在の幸福度



(ウ) 主観因子について

「生活環境」「地域の間人関係」「自分らしい生き方」の三つの視点で構成される計24因子について、主観因子得点を算出*しました。

※ アンケートでは、主観評価指標に対応した設問について「まったくあてはまらない」～「非常にあてはまる」の5段階での回答を求めた。調査結果の分析にあたって、「まったくあてはまらない」を1pt、「あまりあてはまらない」を2pt、「どちらともいえない」を3pt、「ある程度あてはまる」を4pt、「非常にあてはまる」を5ptとし、指標ごとの平均値を主観評価指標の得点として算出した。

その後、LWCIの因子ごとの分析を行うため、LWCIの因子ごとに対応する各主観評価指標の得点の平均値を「主観因子得点」として算出している。

a 地域の生活環境について

生活環境因子に関しては、「自然の恵み(3.84)」「公共空間(3.73)」「自然景観(3.71)」で得点が高く、「遊び・娯楽(2.24)」「デジタル生活(2.63)」「地域行政(2.77)」で得点が低くなっています。

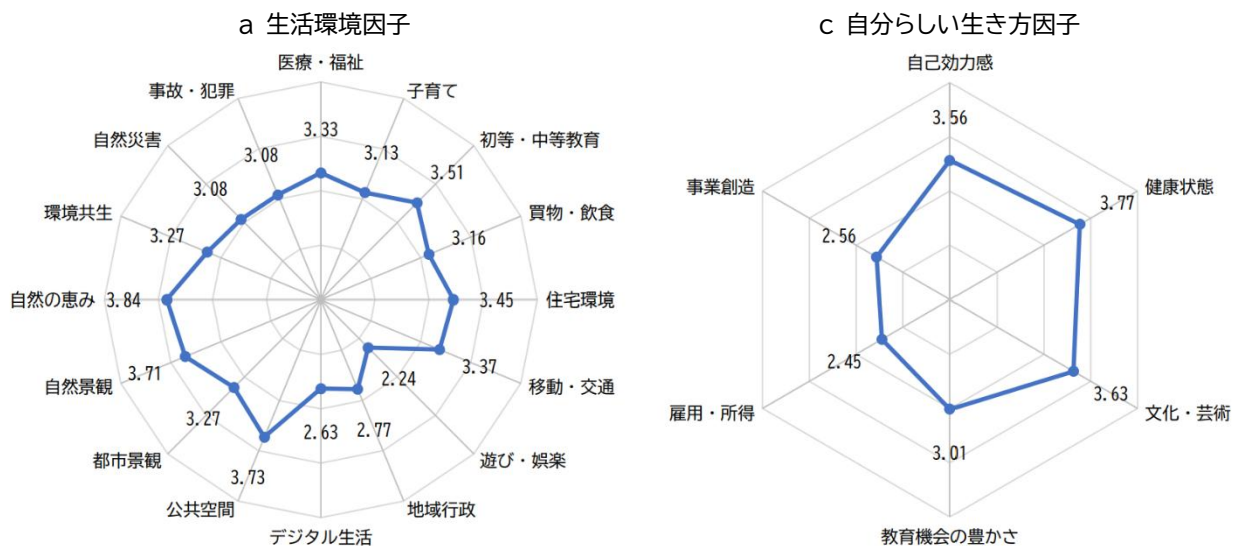
b 地域の間人関係について

地域の間人環境因子に関しては、「地域とのつながり」が3.28である一方、「多様性と寛容性」は2.55となっています。

c 自身の状態や考えについて

自分らしい生き方因子については、「健康状態(3.77)」「文化・芸術(3.63)」で得点が高く、「雇用・所得(2.45)」「事業創造(2.56)」で得点が低くなっています。

図表 VIII-(1)-ウ-(ウ)-① 視点ごとの因子の得点



b 地域の間人関係因子

因子	得点
地域とのつながり	3.28
多様性と寛容性	2.55

d 他自治体との比較について

全国の LWCI の平均値、標準偏差に基づき鎌倉市の主観因子得点の偏差値を算出し、鎌倉市と他自治体*との比較を行ったところ、生活環境因子では「住宅環境」「公共空間」「都市景観」「自然景観」「自然の恵み」「環境共生」、地域の人間関係因子では「地域とのつながり」、自分らしい生き方因子では「自己効力感」「健康状態」「文化・芸術」において、比較対象とした 17 自治体の平均値に比べて偏差値が高くなっています。

※ 地域性が共通する「東京圏」で、財政規模（一般会計当初予算額）が同等程度の自治体及び鎌倉市の周辺自治体、鎌倉市との転出入数上位自治体のうち、市が比較対象として選定した団体を「ベンチマーク自治体」として設定した。ベンチマーク自治体は次のとおり。

神奈川県（8 団体）：平塚市、茅ヶ崎市、小田原市、秦野市、海老名市、座間市、藤沢市、大磯町

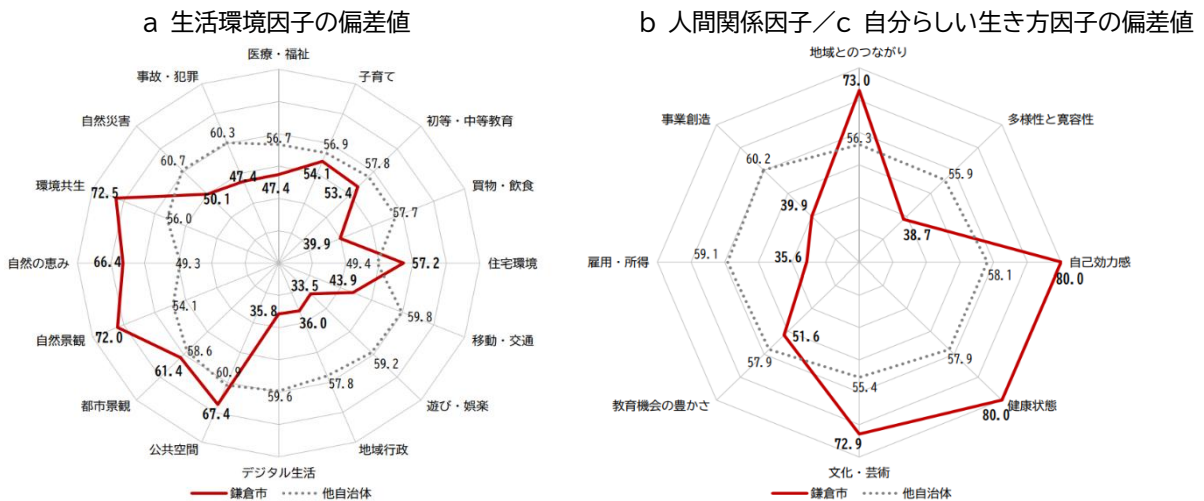
埼玉県（2 団体）：上尾市、熊谷市

千葉県（2 団体）：浦安市、八千代市

東京都（8 団体）：千代田区、港区、品川区、目黒区、世田谷区、武蔵野市、日野市、多摩市

なお、上尾市、武蔵野市は主観指標のサンプル数が 20 未満であること、また、大磯町は主観指標データがないことから、これら 2 市 1 町は主観指標の比較から除外している。

図表 VIII-(1)-ウ-(ウ)-d-① 視点ごとの因子の得点



(I) 客観因子と主観因子の比較について

主観因子得点の偏差値と、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが公表する令和5年（2023年）度 Well-being アンケートダッシュボードの客観指標に基づく偏差値の一覧は次のとおりです。

図表 VIII-(1)-ウ-(I)-① 主観因子得点の偏差値と客観指標に基づく偏差値の一覧

因子	偏差値	
	客観	主観
生活環境		
医療・福祉	47.3	47.4
買物・飲食	49.4	39.9
住宅環境	48.6	57.2
移動・交通	53.0	43.9
遊び・娯楽	47.8	33.5
子育て	46.7	54.1
初等・中等教育	53.6	53.4
地域行政	50.2	36.0
デジタル生活	54.2	35.8
公共空間	53.0	67.4
都市景観	57.8	61.4
事故・犯罪	55.1	47.4
自然景観	41.6	72.0
自然の恵み	45.4	66.4
環境共生	56.6	72.5
自然災害	50.5	50.1

因子	偏差値	
	客観	主観
地域の間関係		
地域とのつながり	53.8	73.0
多様性と寛容性	57.5	38.7
自分らしい生き方		
自己効力感	50.3	80.0
健康状態	64.0	80.0
文化・芸術	63.4	72.9
教育機会の豊かさ	55.3	51.6
雇用・所得	49.9	35.6
事業創造	51.5	39.9

主観因子得点の偏差値と、客観指標に基づく偏差値の比較を行ったところ、以下の10因子で、客観指標に基づく偏差値に比べ、主観指標に基づく偏差値が5ポイント以上高い結果となり、これらの因子は客観的な市の状況に比べて市民の評価は高いといえます。

図表 Ⅷ-(1)-ウ-(エ)-② 客観指標に基づく偏差値に比べ、主観指標に基づく偏差値が5ポイント以上高い因子

因子	子育て		住宅環境		公共空間		自然景観		自然の恵み		環境共生	
	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観
偏差値	46.7	54.1	48.6	57.2	53.0	67.4	41.6	72.0	45.4	66.4	56.6	72.5
因子	地域とのつながり		自己効力感		健康状態		文化・芸術					
	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観				
偏差値	53.8	73.0	50.3	80↑	64.0	80↑	63.4	72.9				

一方で、以下の9因子においては、客観指標に基づく偏差値に比べ、主観指標に基づく偏差値が5ポイント以上低い結果となり、これらの因子は客観的な市の状況に比べて市民の評価が低いといえます。

図表 Ⅷ-(1)-ウ-(エ)-③ 客観指標に基づく偏差値に比べ、主観指標に基づく偏差値が5ポイント以上低い因子

因子	買物・飲食		移動・交通		遊び・娯楽		地域行政		デジタル生活		事故・犯罪	
	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観
偏差値	49.4	39.9	53.0	43.9	47.8	33.5	50.2	36.0	54.2	35.8	55.1	47.4
因子	多様性と寛容性		雇用・所得		事業創造							
	客観	主観	客観	主観	客観	主観						
偏差値	57.5	38.7	49.9	35.6	51.5	39.9						

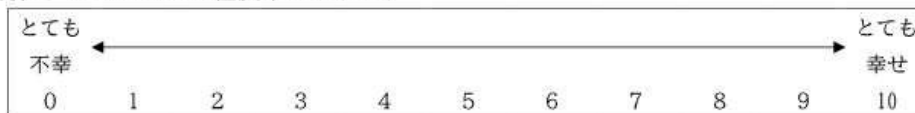
調査票

※本調査における「地域」や「町内（集落）」は、あなたご自身が考える「地域」や「町内（集落）」の範囲を想像してお答えください。

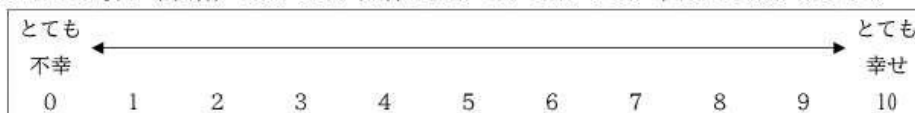
II あなたの幸福度・満足度についてお伺いします。

問1 次の①～③について、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合に、何点くらいになると思いますか。①～③それぞれについて、該当する数字1つに○をつけてください。

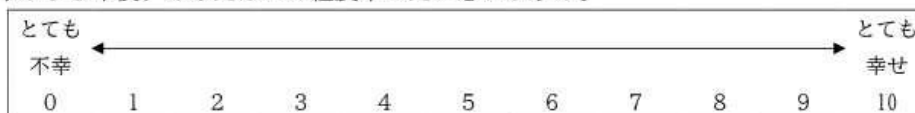
① 現在、あなたはどの程度幸せですか。



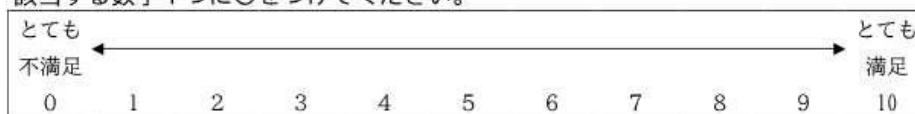
② あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。



③ 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。



問2 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしに、どの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とした場合に、何点くらいになると思いますか。該当する数字1つに○をつけてください。



問3 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思いますか。あなたのお考えに最も近い数字を1つに○をつけてください。

1. まったくあてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない
4. ある程度あてはまる 5. 非常にあてはまる

調 査 票

※以降の各設問については、
 「まったく当てはまらない=1」～「非常にあてはまる=5」
 として、それぞれの設問に対し、あなたのお考えに最も近い数字を1つ選んで○をつけてください。

III あなたの住んでいる地域の生活環境についてのお考えをお伺いします。

問4 医療福祉、子育て・教育等についてお伺いします。

設 問	あては まら ない	ま つ た く	あ て は ま ら な い	あ ま り	言 え な い	ど ち ら と も	あ て は ま る	あ る 程 度	あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
① 私の暮らしている地域は、医療機関が充実している	1		2		3		4		5	
② 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	1		2		3		4		5	
③ 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	1		2		3		4		5	
④ 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	1		2		3		4		5	
⑤ 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている	1		2		3		4		5	
⑥ 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	1		2		3		4		5	

調 査 票

問5 買い物、住宅環境等についてお伺いします。

設 問	あてはま らない	ま ったく	あてはま らない	あ まり	言 え な い	ど ち ら と も	あ て は ま る	あ る 程 度	あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
① 私の暮らしている地域は、日常の買い物にま ったく不便がない	1		2		3		4		5	
② 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場 所が充実している	1		2		3		4		5	
③ 自宅には、心地のいい居場所がある	1		2		3		4		5	
④ 自宅の近辺では、騒音に悩まされている	1		2		3		4		5	
⑤ 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居 を確保できる	1		2		3		4		5	
⑥ 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、 好きな時に好きなところへ移動ができる	1		2		3		4		5	
⑦ 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ご せる娯楽施設がある	1		2		3		4		5	

問6 行政、行政サービスについてお伺いします。

設 問	あてはま らない	ま ったく	あてはま らない	あ まり	言 え な い	ど ち ら と も	あ て は ま る	あ る 程 度	あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
① 私の暮らしている地域の行政は、地域のこと を真剣に考えていると思う	1		2		3		4		5	
② 私の暮らしている地域の公共施設は使い勝手 がよく便利である	1		2		3		4		5	
③ 私の暮らしている地域では、行政サービスの デジタル化が進んでいる	1		2		3		4		5	

調 査 票

問7 まちなみ、公共空間、環境、防災等についてお伺いします。

設 問	あてはま らない	ま ったく	あてはま らない	あ まり	言 えない	ど ちらとも	あ てはまる	あ る程 度	あ てはまる	非 常に あ てはまる
① 私の暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	1		2		3		4		5	
② 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	1		2		3		4		5	
③ 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	1		2		3		4		5	
④ 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	1		2		3		4		5	
⑤ 私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	1		2		3		4		5	
⑥ 私の暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	1		2		3		4		5	
⑦ 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	1		2		3		4		5	
⑧ 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	1		2		3		4		5	
⑨ 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	1		2		3		4		5	
⑩ 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	1		2		3		4		5	
⑪ 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	1		2		3		4		5	

調 査 票

IV あなたの住んでいる地域の人間関係についてお伺いします。

問8 地域とのつながりや多様性についてお伺いします。

	あてはま らない	ま ったく あてはま らない	あ まり あてはま らない	言 え な い	ど ち ら と せ	あ て は ま る	あ る 程 度	あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
① 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している	1		2		3		4		5
② 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである	1		2		3		4		5
③ 私の暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	1		2		3		4		5
④ 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする	1		2		3		4		5
⑤ 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている	1		2		3		4		5
⑥ 私の住む町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	1		2		3		4		5
⑦ 私は、見知らぬ他者であっても信頼する	1		2		3		4		5
⑧ 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる	1		2		3		4		5
⑨ 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	1		2		3		4		5
⑩ 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	1		2		3		4		5

調 査 票

V あなた自身についてお伺いします。

問9 あなたの状態やお考えについてお伺いします。

	あてはま らない	ま ったく あてはま らない	あ まり あてはま らない	言 え な い ど ち ら と せ	あ る 程 度 あ て は ま る	あ て は ま る 非 常 に
① 自分のことを好ましく感じる	1		2	3	4	5
② 私は、身体的に健康な状態である	1		2	3	4	5
③ 私は、精神的に健康な状態である	1		2	3	4	5
④ 私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	1		2	3	4	5
⑤ 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	1		2	3	4	5
⑥ 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	1		2	3	4	5
⑦ 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	1		2	3	4	5
⑧ 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	1		2	3	4	5
⑨ 私の暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	1		2	3	4	5

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 希望出生率の算出に係る調査

ア 希望出生率について

希望出生率とは、結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率であり、平成 27 年（2015 年）に国が掲げた出生率の目標を指します。

希望出生率の算出式は国によって示されており、鎌倉市も同様の算出式を採用しています。

今回実施した調査により算出した鎌倉市の希望出生率は **1.65** となりました。

希望出生率	= (有配偶者割合 × 夫婦の予定子ども数 + 独身者割合 × 独身者のうち結婚を希望する者の割合 × 独身者の希望子ども数) × 離死別等の影響	= 1.65
-------	---	--------

項目	活用データ	数値*
有配偶者割合	総務省統計局「国勢調査(令和2年(2020年))」における鎌倉市の 20 歳～34 歳の有配偶者の割合(女性)。	26.8%
夫婦の予定子ども数	今回のアンケート調査の結果(18 歳～49 歳女性の既婚者の予定子ども数)。	1.84 人
独身者割合	1 - 有配偶者割合によって算出。	73.2%
独身者のうち結婚を希望する者の割合	今回のアンケート調査の結果(18 歳～34 歳女性独身者のうち「結婚を希望する」旨の回答した割合を調査)。	83.9%
独身者の希望子ども数	今回のアンケート調査の結果(18 歳～34 歳の女性独身者のうち「結婚を希望する」旨の回答した者の希望子ども数)。	1.98 人
離死別等の影響	社人研「日本の将来推計人口(令和 5 年(2023 年)4月推計)」における出生中位の家庭に用いられた離死別等の影響。	0.966
希望出生率	上記の項目により算出	1.65

注) アンケート調査の単純集計と集計対象となる年齢が異なるため、本表と本文の数値が一致しない箇所がある。

イ 調査について

(7) 調査対象

令和6年(2024年)4月1日時点で住民基本台帳に記載された満18歳以上49歳以下の市民(女性)2,000人(無作為抽出)

(イ) 調査期間

令和6年(2024年)6月3日から6月24日まで

(ウ) 調査方法

調査票を郵送配布し、調査票返送、WEB回答の併用により回収

(エ) 調査内容

以下の項目をアンケートで把握しました。

- | |
|---|
| <p>I. 回答者属性(年齢、婚姻状況)</p> <p><婚姻状態にある方への質問></p> <p>II. 理想的な子どもの人数</p> <p>III. 予定している子どもの人数</p> <p>IV. 理想的な子どもの人数が予定している子どもの人数よりも少ない理由</p> <p><<婚姻状態にない方への質問>></p> <p>V. 今後の結婚に対する考え</p> <p>VI. 結婚後にほしい子どもの人数</p> |
|---|

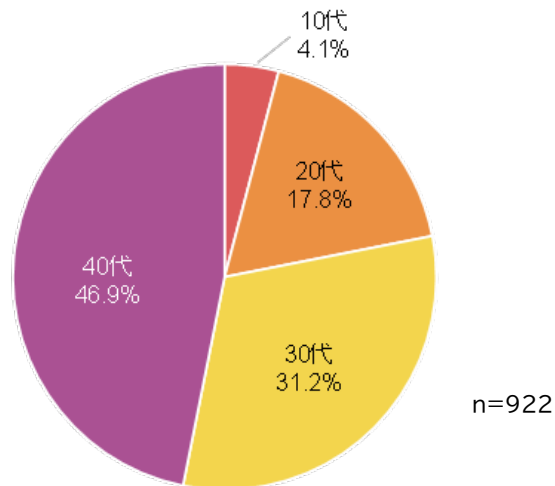
ウ 調査結果（概要）

(7) 回答者属性

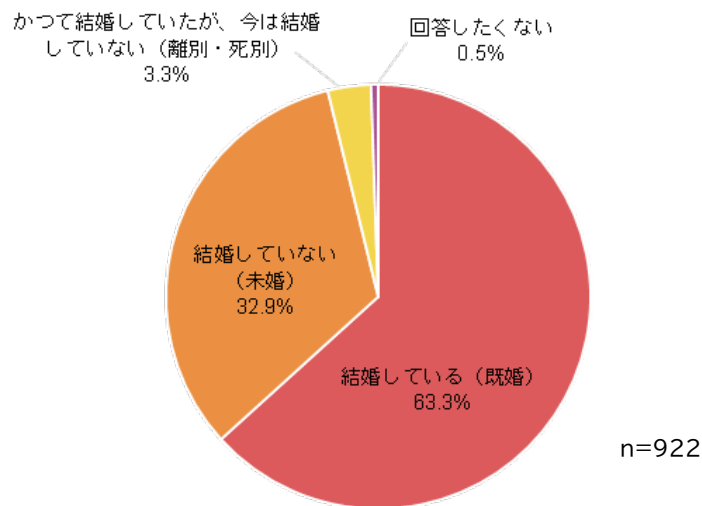
回答者数は922名（回収率：46.1%）で、回答者の構成は、10代4.1%、20代17.8%、30代31.2%、40代46.9%でした。

また、回答者のうち、既婚者が63.3%、未婚者が32.9%、離別・死別が3.3%でした。

図表 VIII-(2)-ウ-(ア)-① アンケート調査回答者の年代



図表 VIII-(2)-ウ-(ア)-② アンケート調査回答者の婚姻状態

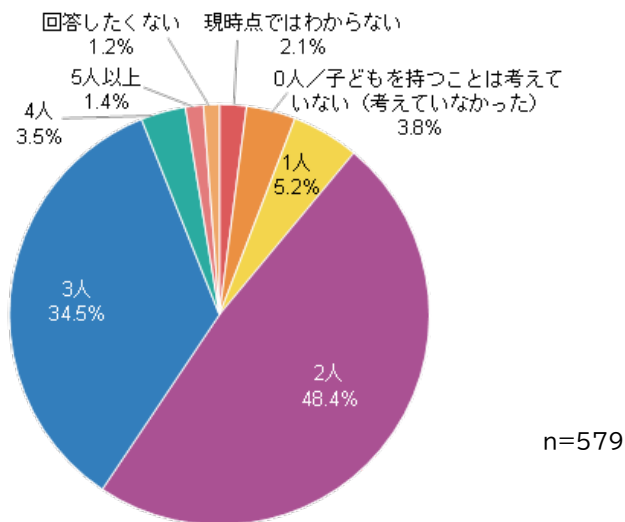


(イ) 理想的な子どもの人数・予定している子どもの人数

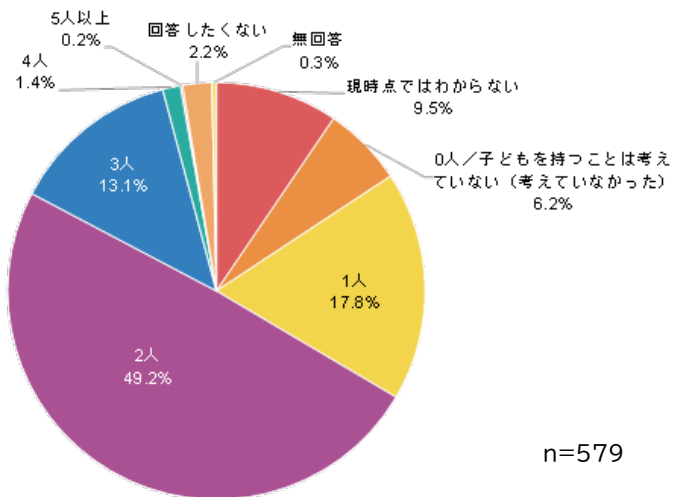
既婚者に理想的な子どもの人数を聞いたところ、2人が最も多く（48.4%）、次いで3人（34.5%）、1人（5.2%）となりました。「現時点ではわからない」及び「回答したくない」を除いて集計すると、既婚者の理想的な子どもの人数の平均は**2.34人**となりました。

他方で、既婚者の予定している子どもの人数の平均は**1.84人**となり、理想的な子どもの人数の平均よりも**0.5人少ない**結果となりました。

図表 VIII-(2)-ウ-(イ)-① 理想的な子どもの人数(既婚者)



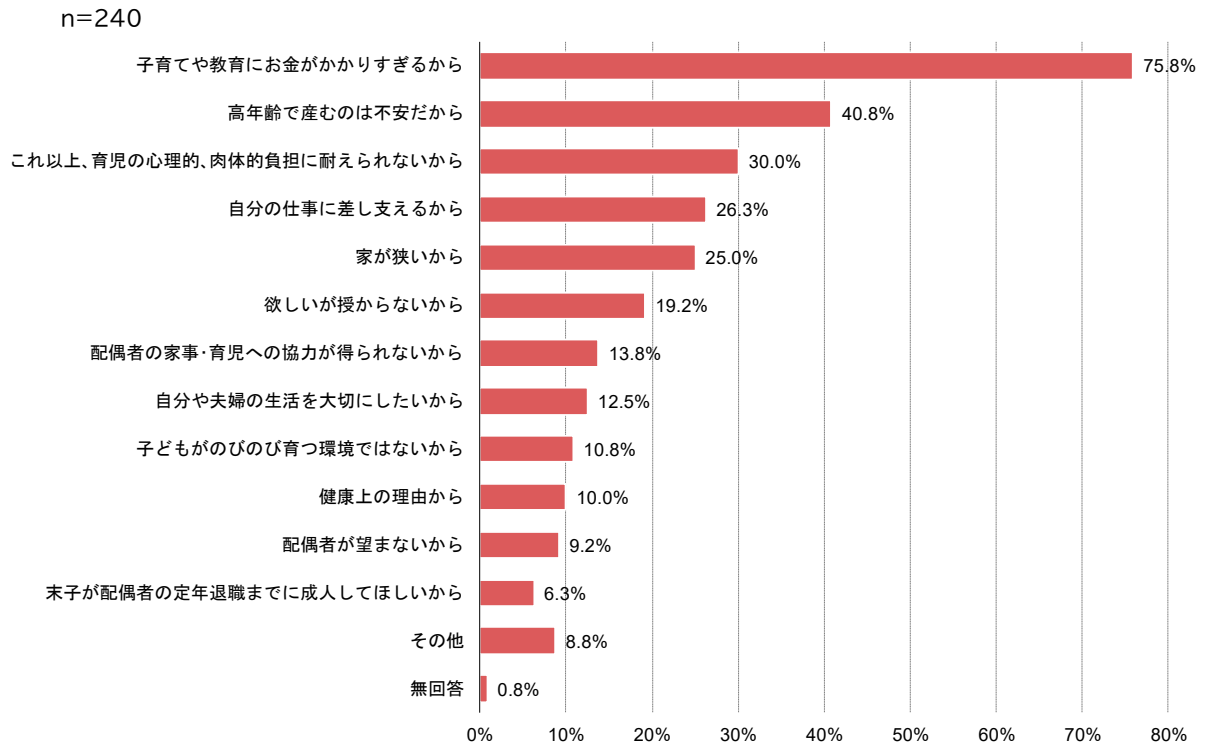
図表 VIII-(2)-ウ-(イ)-② 予定している子どもの人数(既婚者)



(ウ) 予定している子どもの人数が理想的な子どもの人数よりも少ない理由

予定している子どもの人数が、理想的な子どもの人数よりも少ない回答者に対して、その理由を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(75.8%)が最も多く、次いで、「高年齢で産むのは不安だから」(40.8%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(30.0%)が理由として挙げられました。

図表 VIII-(2)-ウ-(ウ)-① 持つ予定の子どもの人数が、理想的な子どもの人数より少ない理由
(当てはまるものすべて)

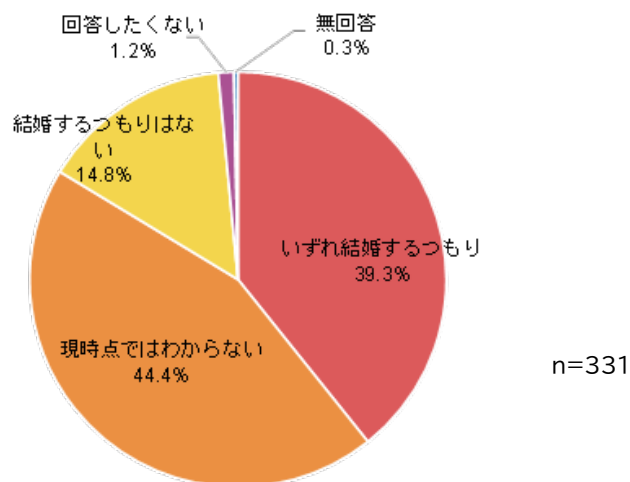


(I) 今後の結婚に対する考え・結婚後に欲しい子どもの人数

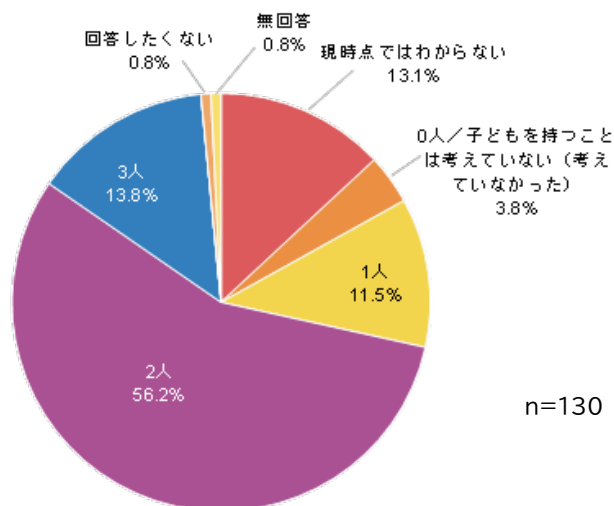
独身者（未婚又は離別・死別）に、今後の結婚に対する考えを尋ねたところ、「現時点ではわからない」が最も多く（44.4%）、次いで「いずれ結婚するつもり」（39.3%）、「結婚するつもりはない」（14.8%）となりました。

「いずれ結婚するつもり」と回答した独身者に対して、結婚後に欲しい子どもの人数を尋ねたところ、「2人」が最も多く（56.2%）、次いで、「3人」（13.8%）、「現時点ではわからない」（13.1%）となりました。「現時点ではわからない」及び「回答したくない」、「無回答」を除いて集計すると、平均は**1.94人**となりました。

図表 VIII-(2)-ウ-(I)-① 今後の結婚に対する考え(独身者)



図表 VIII-(2)-ウ-(I)-② 結婚後に欲しい子どもの人数(独身者)



エ 調査票

調査票

本調査でお聞きする情報は、希望出生率の算出に用います。希望出生率は、将来の鎌倉市の人口構造の推計及び子育て支援を始めとする各種施策の検討に役立てられます。

※希望出生率とは、若い世代（本調査の対象者）における結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう場合に想定される出生率で、政府・自治体において算出され、施策検討等に活用されています。

★まず初めに、回答方法記載の資料にある ID を【 】内にご記入ください

【 ID

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 】

問1 令和6年（2024年）4月1日時点のあなたの年齢を教えてください。

年齢

--	--

 歳

問2 令和6年（2024年）4月1日時点であなたのご結婚をされていますか。【1つだけ選択】

1.	結婚している(既婚)	→問3へ
2.	結婚していない(未婚)	→問7へ
3.	かつて結婚していたが、今は結婚していない(離別・死別)	→問7へ
4.	回答したくない	→アンケートは以上です

※鎌倉市パートナーシップ宣誓制度を利用されている方も、1をご選択ください

【問3から問6は、問2で「1. 結婚している(既婚)」と回答された方にお伺いします】

問3 あなたにとって、理想的なお子さんの人数は何人ですか。【1つだけ選択】

1.	現時点ではわからない
2.	0人／子どもをもつことは考えていない(考えていなかった)
3.	1人
4.	2人
5.	3人
6.	4人
7.	5人以上 ⇒ [] ※人数をご記入ください
8.	回答したくない

調 査 票

問6 問5で答えた理由のうち、最も当てはまるものを1つ選択してください。【1つだけ選択】

1.	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2.	家が狭いから
3.	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
4.	子どもがのびのび育つ環境(家庭や地域)ではないから
5.	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6.	高年齢で産むのは不安だから
7.	配偶者(夫または妻やパートナー)が望まないから
8.	健康上の理由から
9.	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
10.	配偶者(夫または妻やパートナー)の家事・育児への協力が得られないから
11.	欲しいが授からないから
12.	末子が配偶者(夫または妻やパートナー)の定年退職までに成人してほしいから
13.	その他()

【問7は、問2で「2. 結婚していない(未婚)」または「3. かつて結婚していたが、今は結婚していない(離別・死別)」と回答された方にお伺いします】

問7 あなたの今後の結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。【1つだけ選択】

1.	いずれ結婚するつもり	→問8へ
2.	現時点ではわからない	→アンケートは以上です
3.	結婚するつもりはない	→アンケートは以上です
4.	回答したくない	→アンケートは以上です

調査票

【問8は、問7で「1. いずれ結婚するつもり」と回答された方にお伺いします】

問8 結婚後、お子さんをもつとしたら、何人くらいほしいですか。【1つだけ選択】

1.	現時点ではわからない
2.	0人／子どもをもつことは考えていない(考えていなかった)
3.	1人
4.	2人
5.	3人
6.	4人
7.	5人以上 ⇒ [] ※人数をご記入ください
8.	回答したくない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(3) 政策・施策指標の直近実績値に係る調査

ア 調査について

(7) 目的

総合計画を効果的に進めるために設定した指標の直近実績値を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(イ) 調査対象

令和7年（2025年）10月1日時点で住民基本台帳に記載された満18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）

(ウ) 調査期間

令和7年（2025年）11月21日から12月12日まで

(エ) 調査方法

調査票を郵送配布し、調査票返送、WEB回答の併用により回収

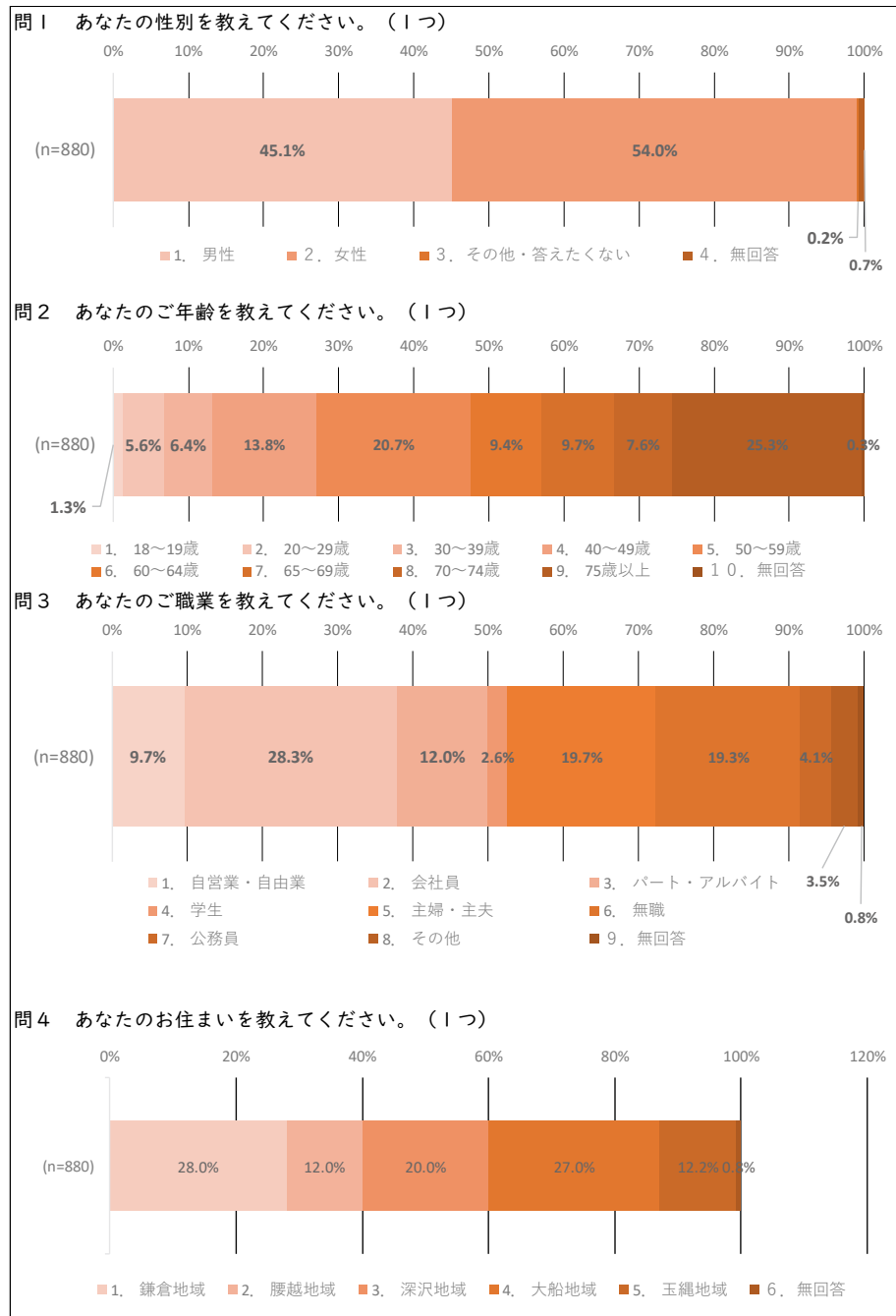
(オ) 調査内容

「Ⅱ 成果指標」に示す指標のうち、出典が「市民意識調査」となっているもの直近実績値。（ただし、直近実績値を「(未定)」としたものは除く。）

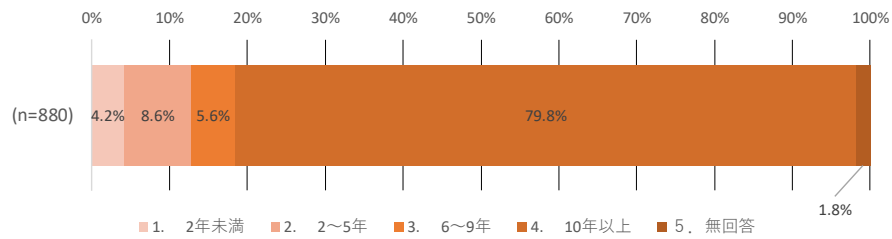
イ 調査結果

(7) 回答者属性

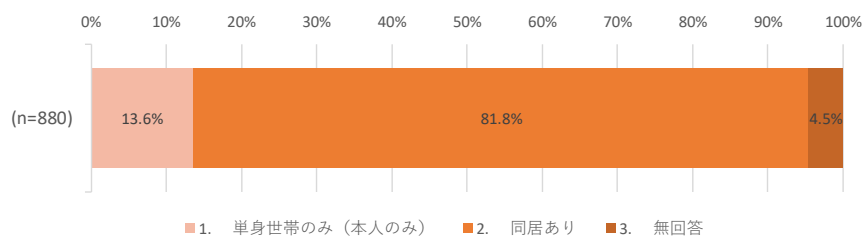
回答者数は880名（回収率：44%）で、回答者の構成は、性別では女性（54.0%）、年齢では75歳以上（25.3%）、職業では会社員（28.3%）、居住地域では鎌倉地域（28.0%）、居住年数では10年以上（79.8%）がそれぞれ最も多い回答者となりました。



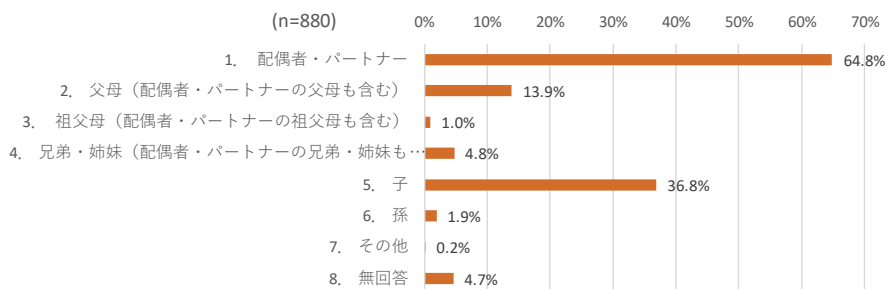
問5 鎌倉市にお住まいの期間を教えてください。(1つ)



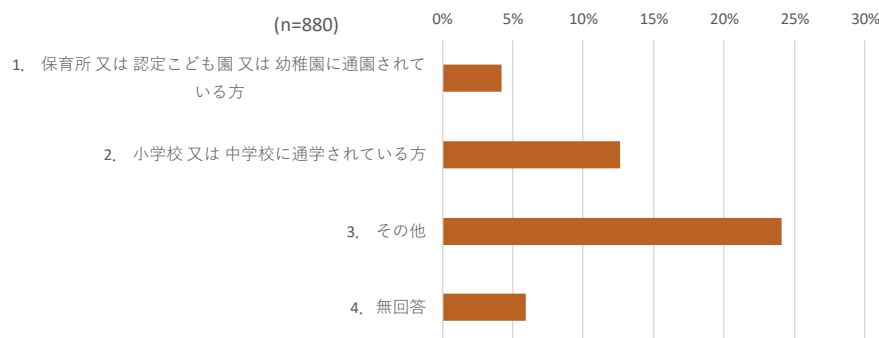
問6 あなたの世帯について、教えてください。(1つ)



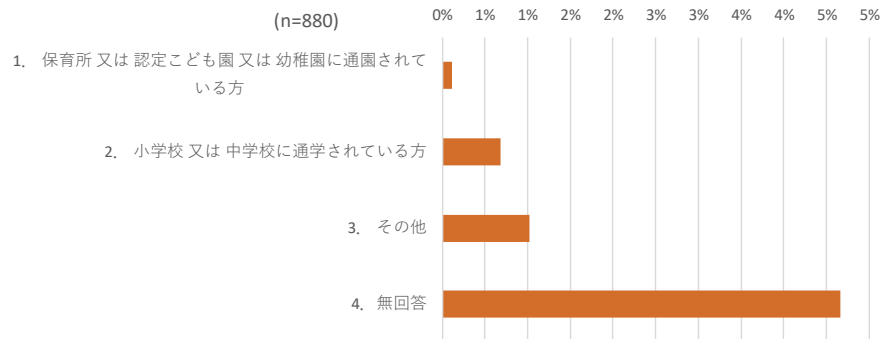
問6-2 問6で「同居あり」を選択した方にお伺いします。世帯に含まれる方を全て選んでください。(複数回答可)



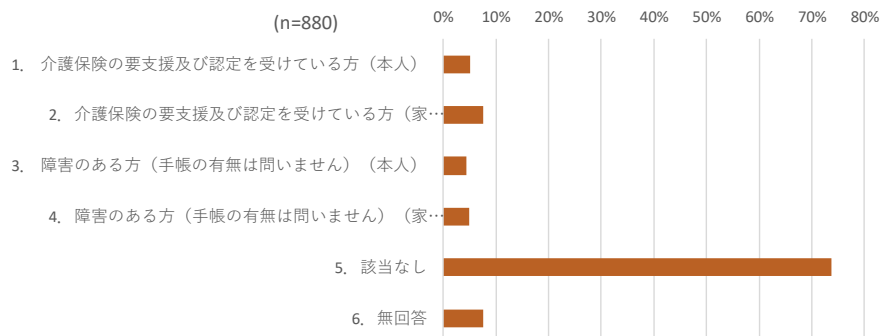
問6-2-1 問6-2で「子」を選択した方のうち該当するものを全て選んでください。(複数回答可)



問6-2-2 問6-2で「孫」を選択した方のうち該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

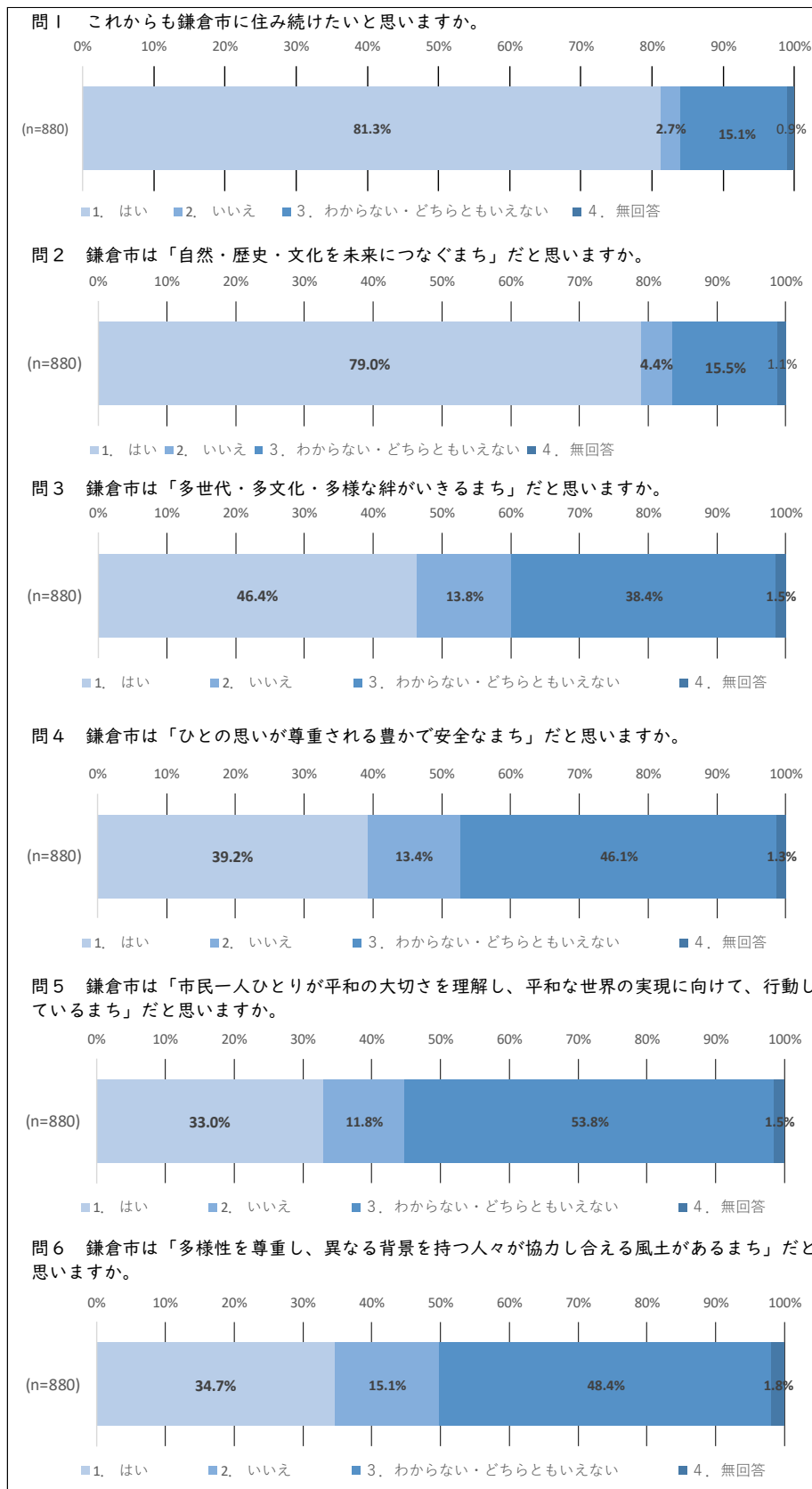


問7 あなた御自身、または御家族・同居人の中で次の方がいらっしゃるかを教えてください。該当するもので、御本人の場合は「本人」、御家族・同居人の場合は「家族・同居人」、双方の場合は両方に○をつけてください。（複数回答可）

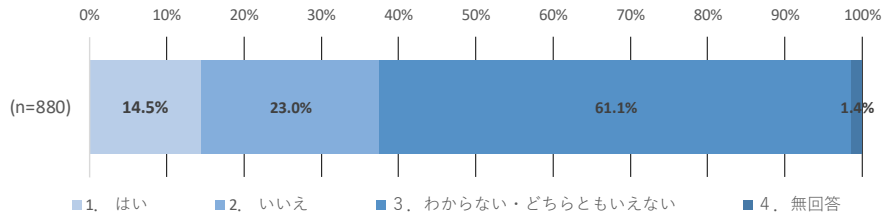


(イ) その他

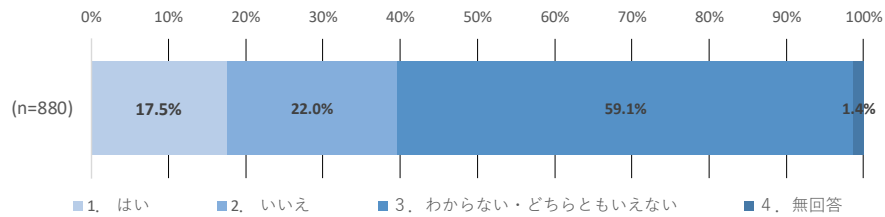
各指標の直近実績値は、各施策等のページに記載のとおり。



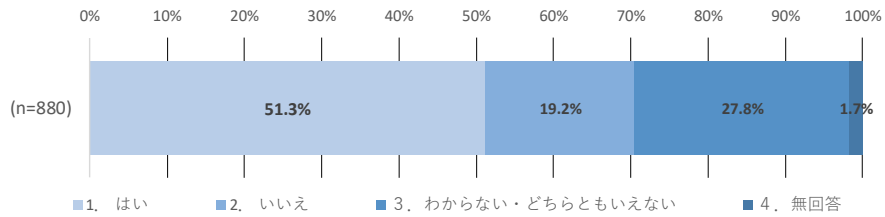
問7 鎌倉市は高齢者、障害者、ひきこもり状態の方、ケアラー等が抱える課題に対し一体的な支援体制が整っていると思いますか。



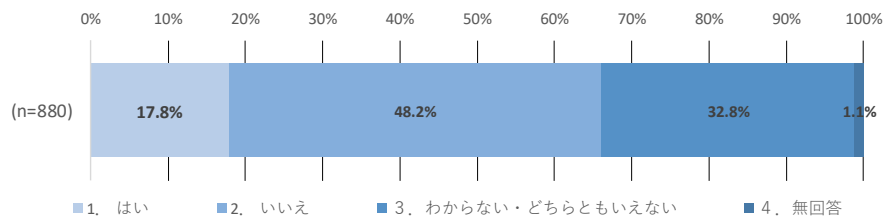
問8 鎌倉市ではニーズに即した多様な福祉サービスを受けることができますか。



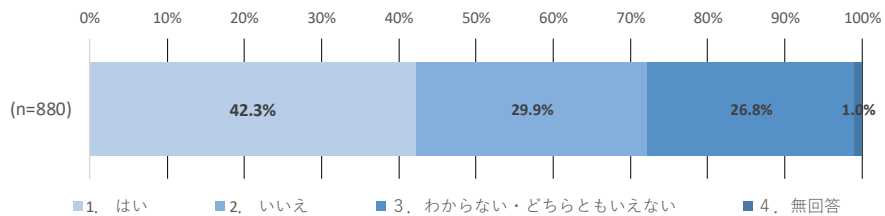
問9 鎌倉の海岸はきれいな環境が保たれていると思いますか。



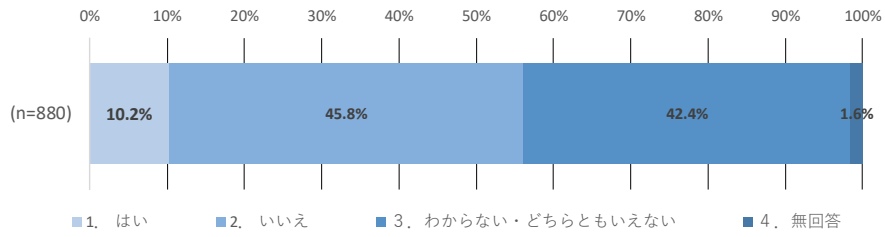
問10 鎌倉駅周辺は市民と来訪者等が共存できる空間が確保されていると思いますか。



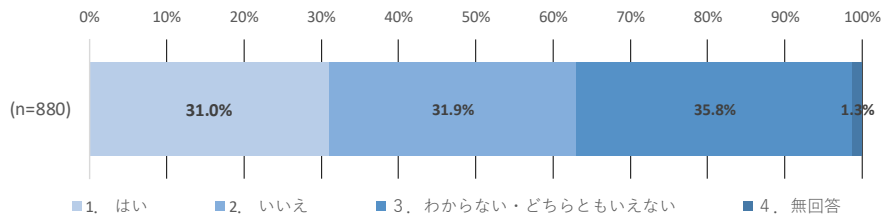
問11 深沢地域の新しいまちづくり（深沢地区土地区画整理事業と新駅整備など）に期待していますか。



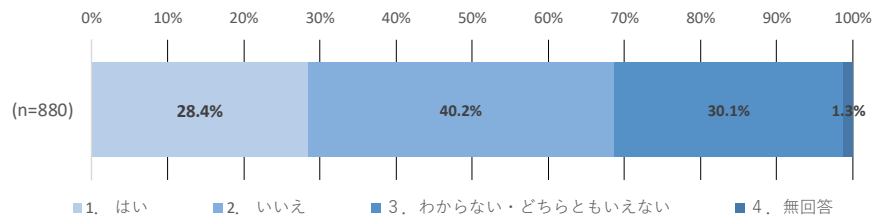
問12 公園施設の老朽化に対する市の対応は十分だと思いますか。



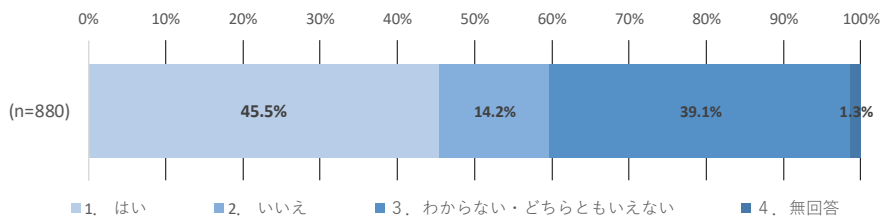
問13 鎌倉市の観光に対する取組に市民として理解ができますか。



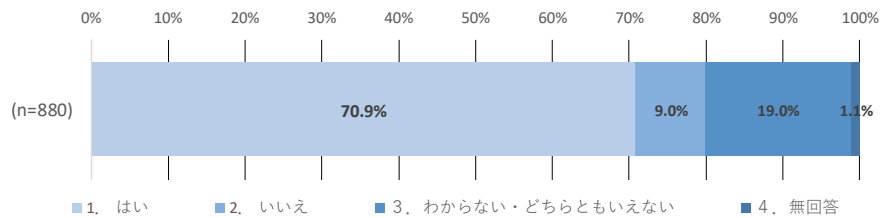
問14 観光客が多く訪れる鎌倉での生活に満足していますか。



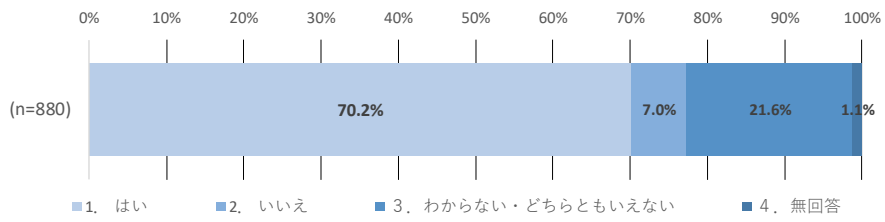
問15 市内の商店街が行うイベント等の取組が、地域の活性化に貢献していると思いますか。



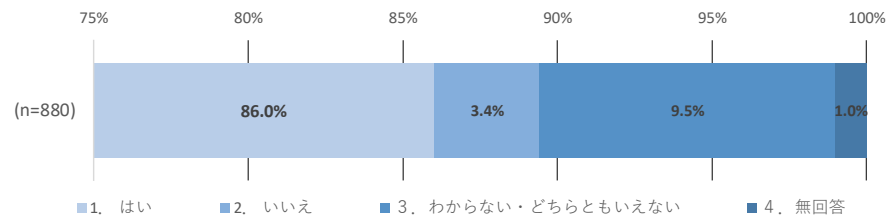
問16 日常の食事において、鎌倉市内の農産物を使いたいと感じますか。



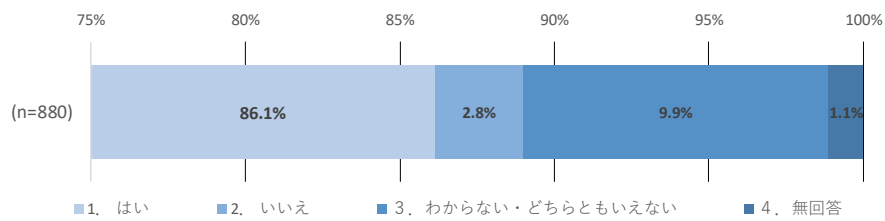
問17 市日常の食事において、鎌倉市内の水産物を使いたいと感じますか。



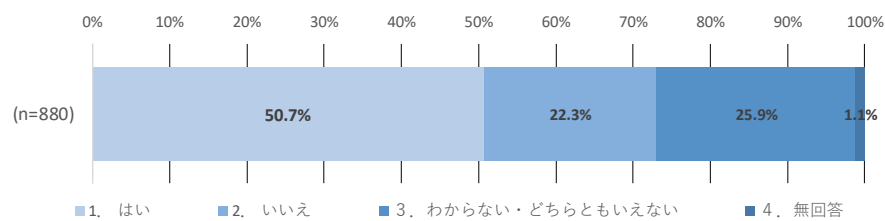
問18 市内の「文化財」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。



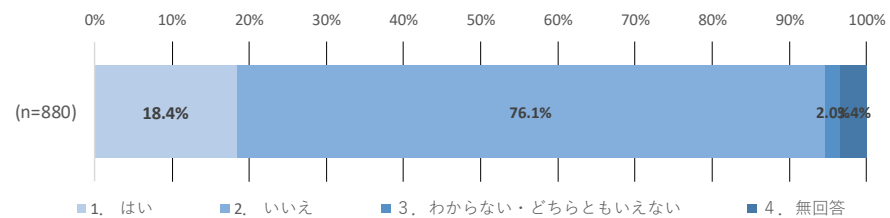
問19 市内の「史跡」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。



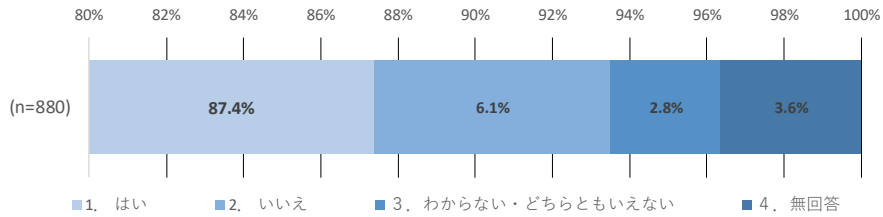
問20 市内の「街並み」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。



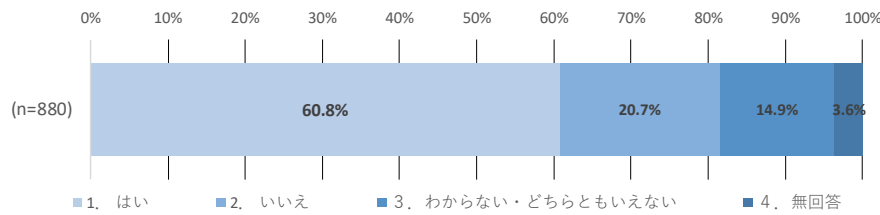
問21 この1年の間に1回以上、地域の防災訓練に参加したことがありますか。



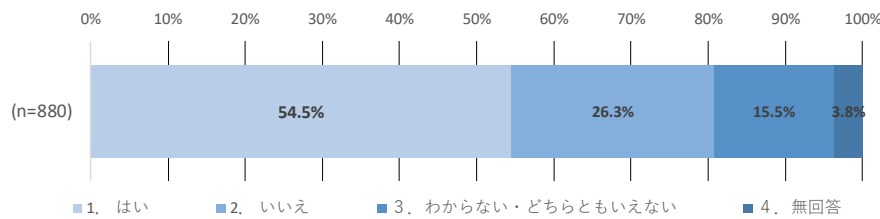
問22 全国瞬時警報システム（J-アラート）（緊急地震速報、津波警報、弾道ミサイル情報等の緊急情報を、防災行政用無線などを通じ、サイレンや放送によって住民へ伝達する）を知っていますか。



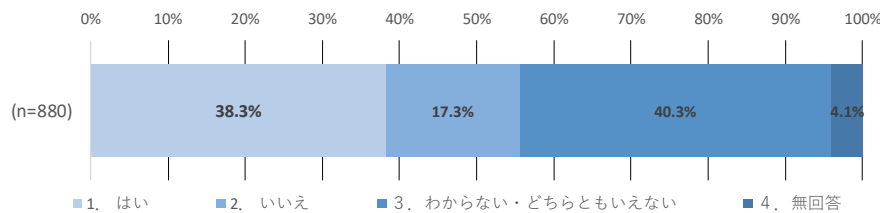
問23 デコ活アクション（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む／LED・省エネ家電などを選ぶ／食品の食べきり、食材の使い切りなど）を生活に取り入れていますか。



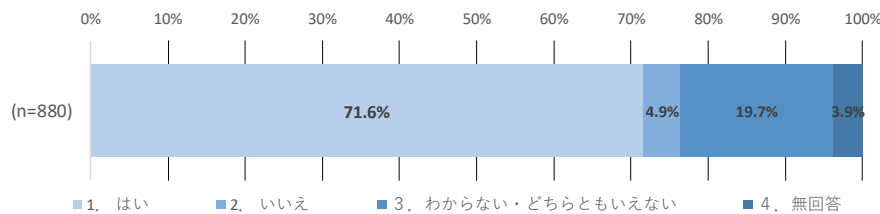
問24 環境適応行動（外気温に合わせた適切な空調設備の利用・服装の調整／「遮熱フィルム」「緑のカーテン」などによる室温調整／クールシェアスポットの活用など）を生活に取り入れていますか。



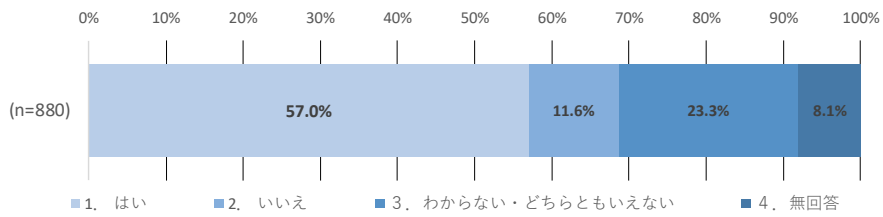
問25 日常や災害時でも、地域でのつながりや支え合いがありますか。



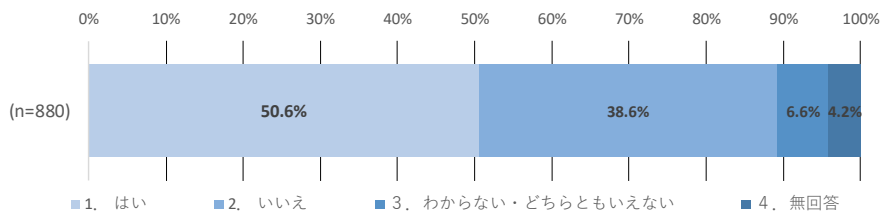
問26 住み慣れた地域で安心して暮らすことができていますか。



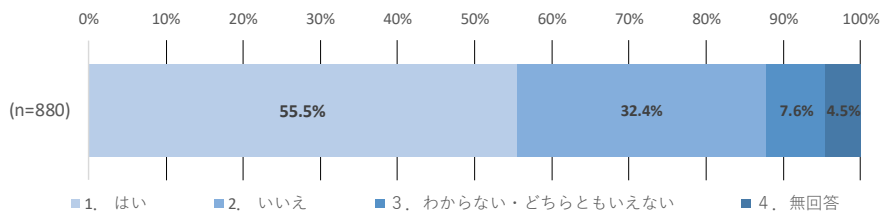
問27 現在、仕事と生活のバランスがとれていますか。



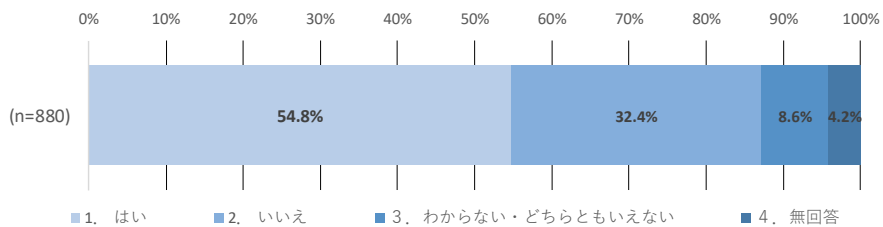
問28 何らかの生涯学習（社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など）に取り組んでいますか。



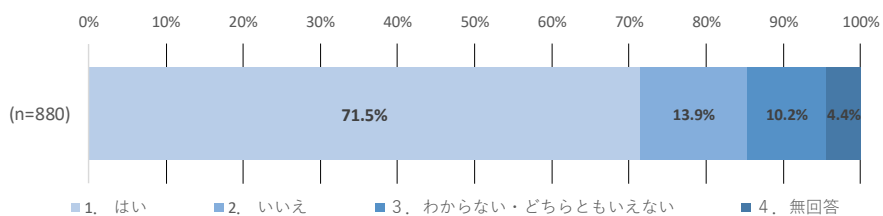
問29 週1回以上運動をしていますか。



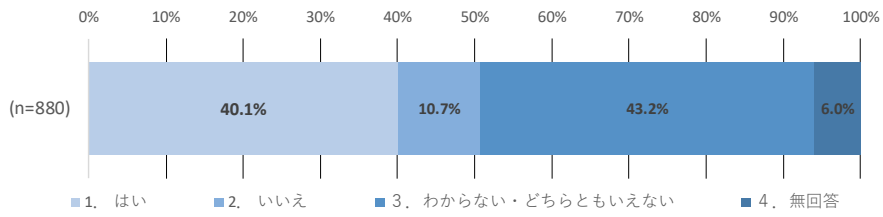
問30 公園、緑地、海、川などで、動物や植物などと触れあう機会をとっていますか。



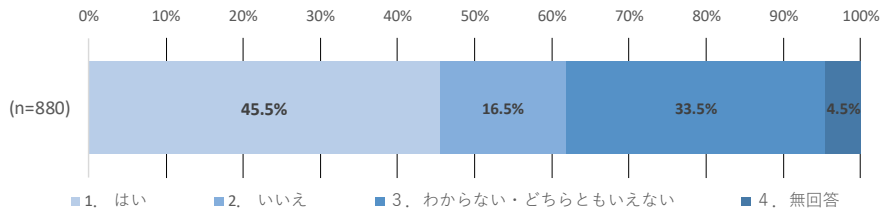
問31 生活する上で不自由なく移動できる手段が確保されていますか。



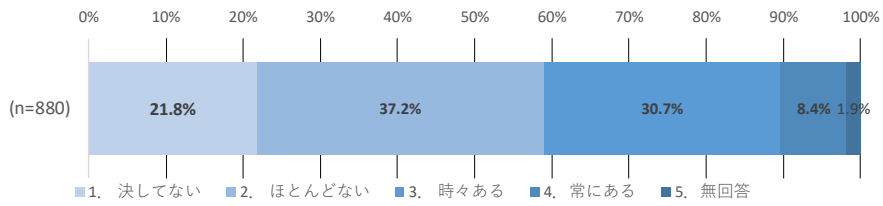
問32 大船の松竹通りで快適に通行できていますか。



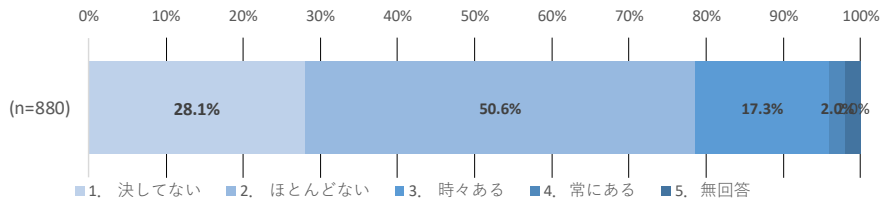
問33 生活する上で、便利で、かつ自身が活用できるデジタル環境が整っていると感じますか。



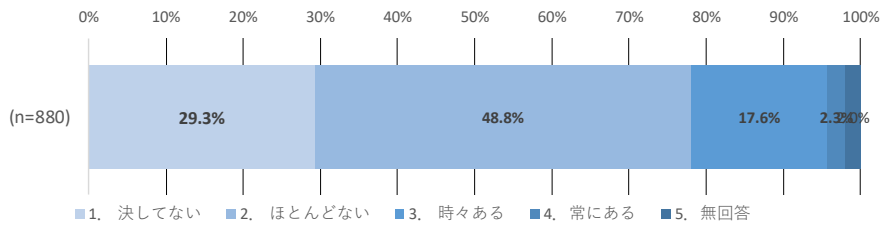
問34 自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。(1つ)



問35 自分は取り残されていると感じることがありますか。(1つ)

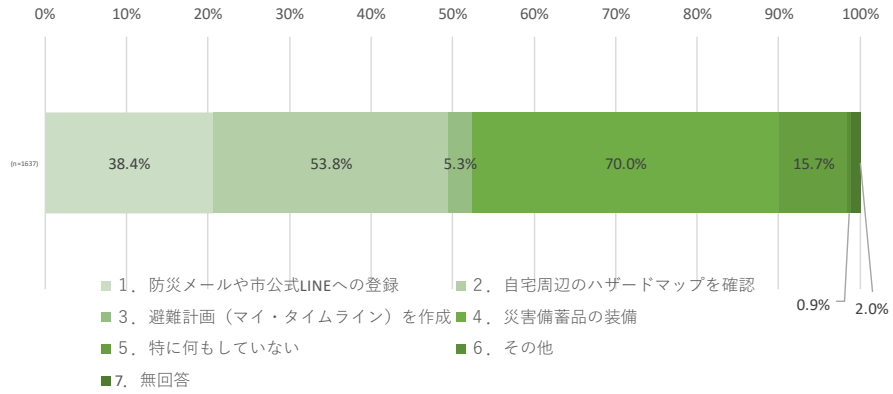


問36 自分是他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(1つ)

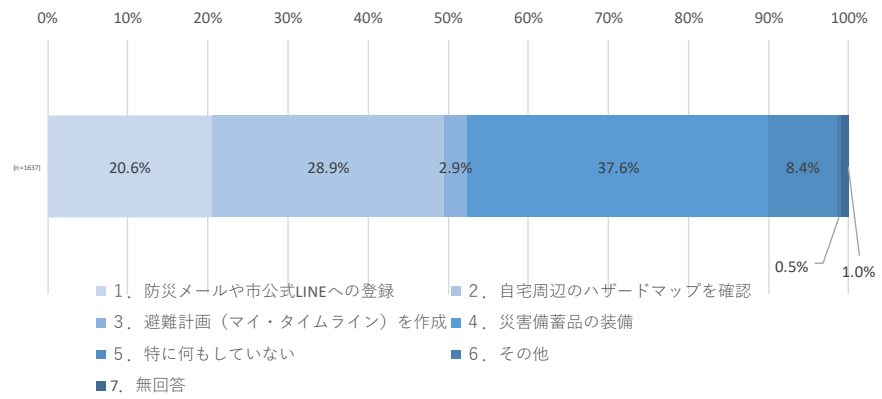


問37 災害に備えて行っている対策を教えてください。（複数回答可）

※回答数1,637に対する集計

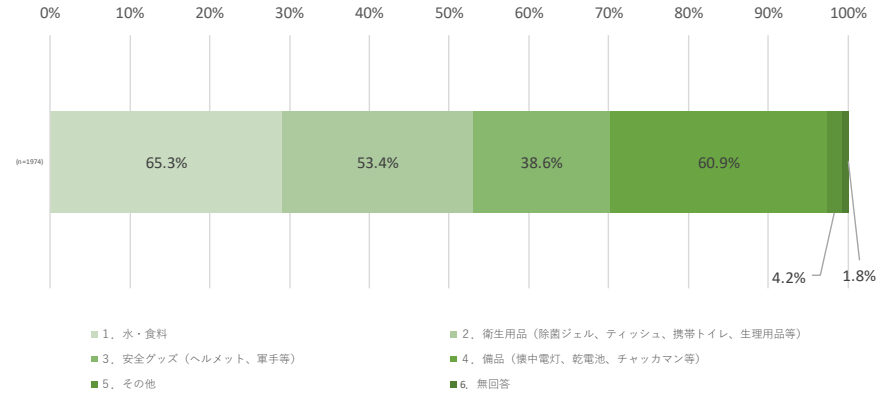


※100%に換算した場合の集計

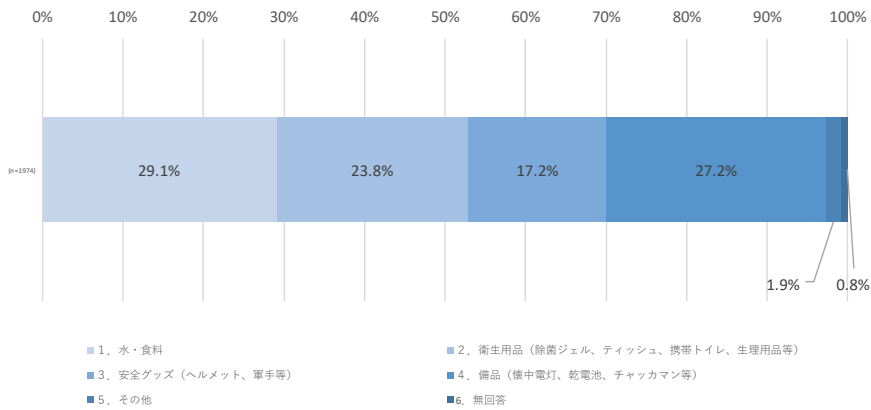


問37-2 37で「4 災害備蓄品の装備」を選択した方に伺います。
 災害時に備えて、自宅に備蓄しているものを教えてください。（複数回答可）

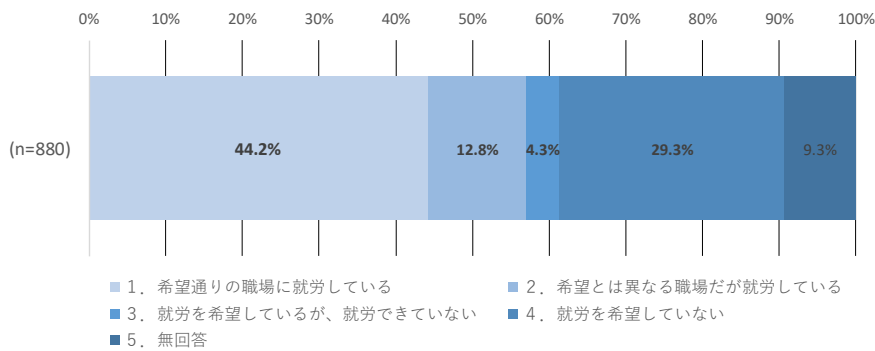
※回答数1,974に対する集計



※100%に換算した場合の集計

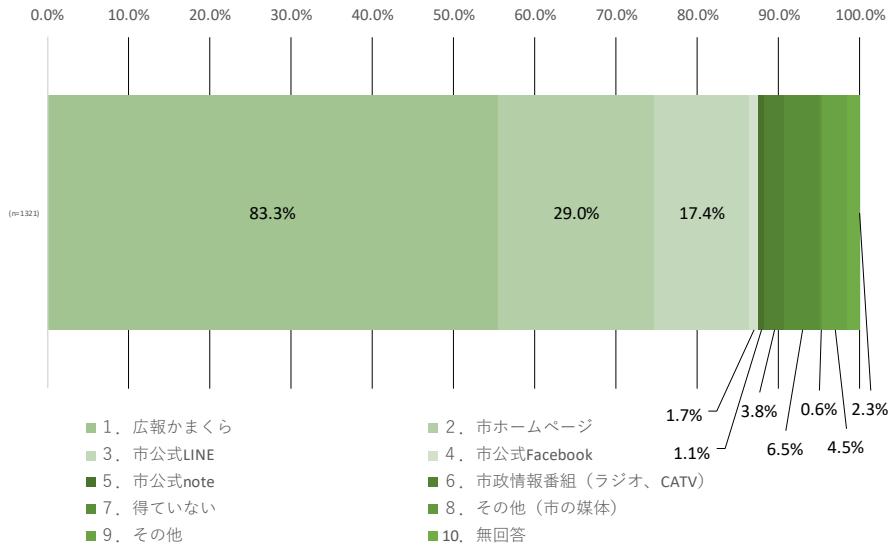


問38 現在希望する職場に就労していますか。（1つ）

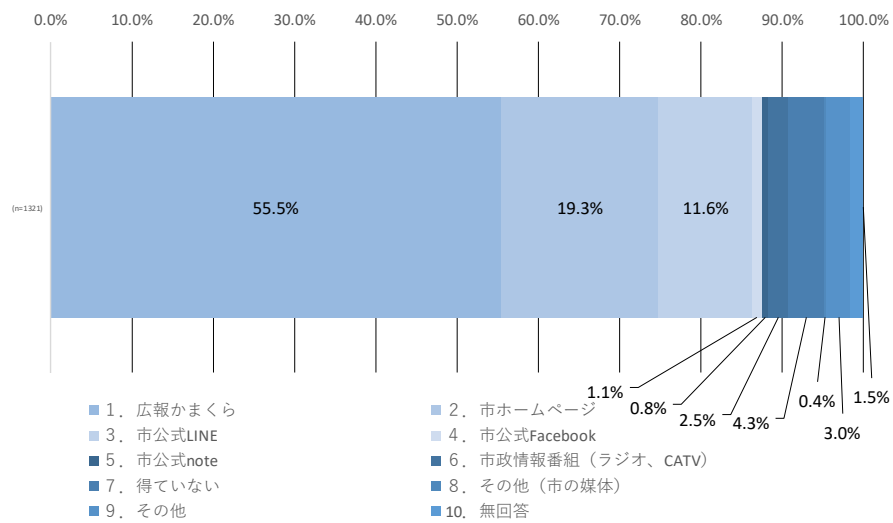


問39 鎌倉市の情報を、どのようにして得ていますか。（複数回答可）

※回答数1,321に対する集計



※100%に換算した場合の集計

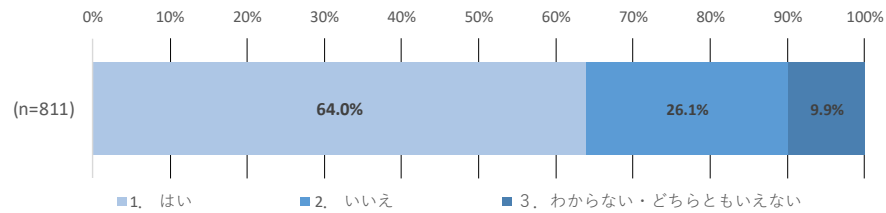


問39-2 39で「7 得ていない」を選択した方にお伺いします。

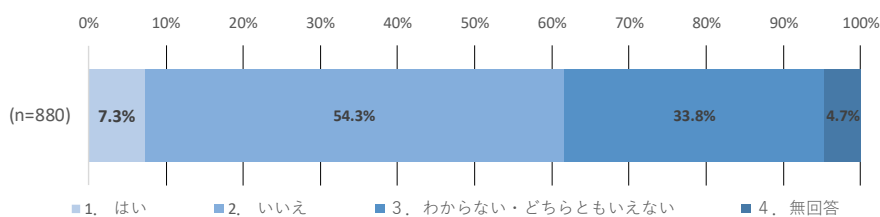
※自由記載のため、集計は行っていません。

問39-3 39でいずれかの手法で情報を得ることができている方にお聞きします。

鎌倉市が発信する市政情報は、見て、聞いて、わかりやすいと感じますか。（1つ）



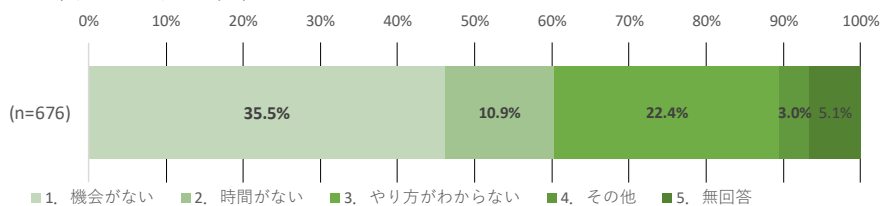
問40 市の取組に対して、自分の意見を届けられていますか。(1つ)



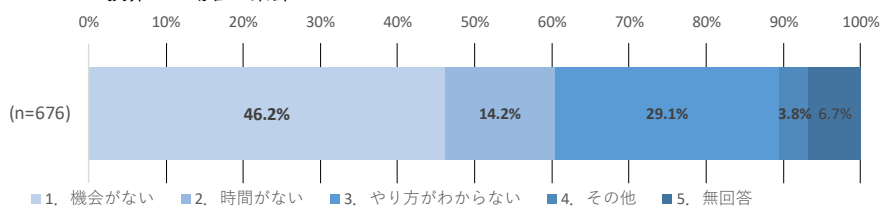
問40-2 40で「2 いいえ」を選択した方にお伺いします。

それはどのような理由ですか。(複数回答可)

※回答数676に対する集計

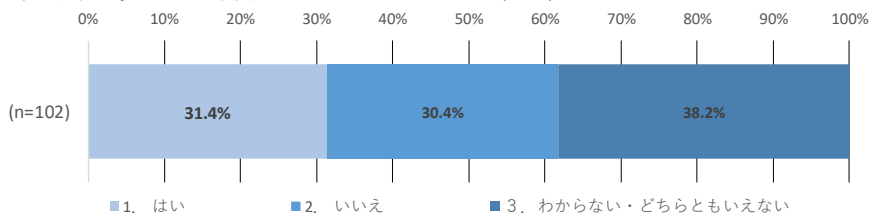


※100%に換算した場合の集計



問40-3 40で「1 はい」を選択した方にお伺いします。

市の取組に参画したと実感したことはありますか。(1つ)



鎌倉ミライ共創プラン2030の各施策ごとに設定した指標について、進行管理を行うため、次のアンケートへの御回答に御協力をお願いします。

設問	はい	いいえ	どちらでもない
----	----	-----	---------

問1～問33は、該当するものを1つお選びください。

1	これからも鎌倉市に住み続けたいと思いますか。	1	2	3
2	鎌倉市は「自然・歴史・文化を未来につなぐまち」だと思いますか。	1	2	3
3	鎌倉市は「多世代・多文化・多様な絆がいきるまち」だと思いますか。	1	2	3
4	鎌倉市は「ひとの思いが尊重される豊かで安全なまち」だと思いますか。	1	2	3
5	鎌倉市は「市民一人ひとりが平和の大切さを理解し、平和な世界の実現に向けて、行動しているまち」だと思いますか。	1	2	3
6	鎌倉市は「多様性を尊重し、異なる背景を持つ人々が協力し合える風土があるまち」だと思いますか。	1	2	3
7	鎌倉市は高齢者、障害者、ひきこもり状態の方、ケアラー等が抱える課題に対し一体的な支援体制が整っていると思いますか。	1	2	3
8	鎌倉市ではニーズに即した多様な福祉サービスを受けることができると思いますか。	1	2	3
9	鎌倉の海岸はきれいな環境が保たれていると思いますか。	1	2	3
10	鎌倉駅周辺は市民と来訪者等が共存できる空間が確保されていると思いますか。	1	2	3
11	深沢地域の新しいまちづくり（深沢地区土地区画整理事業と新駅整備など）に期待していますか。	1	2	3
12	公園施設の老朽化に対する市の対応は十分であると思いますか。	1	2	3
13	鎌倉市の観光に対する取組に市民として理解ができますか。	1	2	3
14	観光客が多く訪れる鎌倉での生活に満足していますか。	1	2	3
15	市内の商店街が行うイベント等の取組が、地域の活性化に貢献していると思いますか。	1	2	3
16	日常の食事において、鎌倉市内の農産物を使いたいと感じますか。	1	2	3
17	日常の食事において、鎌倉市内の水産物を使いたいと感じますか。	1	2	3
18	市内の「文化財」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。	1	2	3
19	市内の「史跡」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。	1	2	3
20	市内の「街並み」に鎌倉の歴史・文化を感じますか。	1	2	3

設問	はい	いいえ	どちらでもない いえはい
21 この1年の間に1回以上、地域の防災訓練に参加したことがありますか。	1	2	3
22 全国瞬時警報システム（J-アラート）（緊急地震速報、津波警報、弾道ミサイル情報等の緊急情報を、防災行政用無線などを通じ、サイレンや放送によって住民へ伝達する）を知っていますか。	1	2	3
23 デコ活アクション（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む／LED・省エネ家電などを運ぶ／食品の食べきり、食材の使い切りなど）を生活に取り入れていますか。	1	2	3
24 環境適応行動（外気温に合わせた適切な空調設備の利用・服装の調整／「遮熱フィルム」「緑のカーテン」などによる室温調整／クールシェアスポットの活用など）を生活に取り入れていますか。	1	2	3
25 日常や災害時でも、地域でのつながりや支え合いがありますか。	1	2	3
26 住み慣れた地域で安心して暮らすことができていますか。	1	2	3
27 現在、仕事と生活のバランスがとれていますか。	1	2	3
28 何らかの生涯学習（社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など）に取り組んでいますか。	1	2	3
29 週1回以上運動をしていますか。	1	2	3
30 公園、緑地、海、川などで、動物や植物などと触れあう機会をとっていますか。	1	2	3
31 生活する上で不自由なく移動できる手段が確保されていますか。	1	2	3
32 大船の松竹通りで快適に通行できていますか。	1	2	3
33 生活する上で、便利で、かつ自身が活用できるデジタル環境が整っていると感じますか。	1	2	3

- 34 自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。(1つ)
 1 決してない 2 ほとんどない 3 時々ある 4 常にある
- 35 自分は取り残されていると感じることがありますか。(1つ)
 1 決してない 2 ほとんどない 3 時々ある 4 常にある
- 36 自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(1つ)
 1 決してない 2 ほとんどない 3 時々ある 4 常にある
- 37 災害に備えて行っている対策を教えてください。(複数回答可)
 1 防災メールや市公式LINEへの登録 2 自宅周辺のハザードマップを確認
 3 避難計画(マイ・タイムライン)を作成 4 災害備蓄品の装備
 5 特に何もしていない
 6 その他()
- 37 -2 37で「4 災害備蓄品の装備」を選択した方に伺います。
災害時に備えて、自宅に備蓄しているものを教えてください。(複数回答可)
 1 水・食料
 2 衛生用品(除菌ジェル、ティッシュ、携帯トイレ、生理用品等)
 3 安全グッズ(ヘルメット、軍手等)
 4 備品(懐中電灯、乾電池、チャッカマン等)
 5 その他()
- 38 現在希望する職場に就労していますか。(1つ)
 1 希望通りの職場に就労している 2 希望とは異なる職場だが就労している
 3 就労を希望しているが、就労できていない 4 就労を希望していない
- 39 鎌倉市の情報を、どのようにして得ていますか。(複数回答可)
 1 広報かまくら 2 市ホームページ 3 市公式LINE
 4 市公式Facebook 5 市公式note 6 市政情報番組(ラジオ、CATV)
 7 得ていない
 8 その他()
- 39 -2 39で「7 得ていない」を選択した方にお伺いします。
その理由をお聞かせください。
 自由記載
 []
- 39 -3 39でいずれかの手法で情報を得ることができている方にお聞きします。
鎌倉市が発信する市政情報は、見て、聞いて、わかりやすいと感じますか。(1つ)
 1 はい 2 いいえ

